



# 上小っ子

上野原市立  
上野原小学校

平成27年度  
第3号

発行者  
校長 近藤周利

## 市制十周年記念式典

上野原町と秋山村が合併し、上野原市が誕生してから十年を迎え、五月十七日(日)に市制十周年の記念式典が開催されました。

子どもたちは十周年記念として、「私の好きな上野原市」に絵を描いたり、作文を書いたりしました。多くの子どもたちの作品が入賞し、絵は文化ホールに掲示されました。作文では、四年生の中村真人さんと六年生の武原佳菜子さんが最優秀賞に選ばれ、記念式典で発表しました。



## あいさつレンジャー 三四九名



今年も児童会によるあいさつ運動が実施されています。今年の取り組みのすごいところは、あいさつの推進役である「あいさつレンジャー」がなんと三四九名もいることです。全校児童の七十%があいさつレンジャーです。

ハイタッチをしながら、あいさつをする子どもたちは、笑顔いっぱいです。朝のあいさつから、楽しい学校、仲良しいっぱいの学校が始まります。ご家庭また地域でもあいさつ運動にご協力をお願いします。

## 今年も藤森先生に

### ご講演いただきました

六月十日(水)の学校開放日には、多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。今年は、上野原地区の民生委員の皆様にもお忙しい中、ご参加いただき、授業を参観していただきました。

また、同日に開催されましたPTAスクールでは、今年も親業訓練インストラクターの藤森晴江先生に「三つのコミュニケーションを考えよう」と題して、子どもの話の聞き方や親の気持ちの伝え方、問題解決の方法をご指導いただきました。



## 藤森先生の講演から

### 問題解決の方法 親の四つのタイプ

- ①親が勝つタイプ
    - ・子どもを厳しく管理する。
    - ・力で押さえつける。
  - ②親が負けるタイプ
    - ・子どものいいなり
    - ・甘やかす
  - ③親が勝つ時と負ける時があるタイプ
    - ・時と場合に応じて揺れ動く(一貫性がない)
  - ④親子とも勝たない負けたくないタイプ
    - ・親子で話し合いながら問題を解決する。
    - ・親子どちらも不満が残らない。
- 勝ち負けのないタイプ
- ・子どもは・・・
  - ・考える力がつく
  - ・責任感が強くなる
  - ・積極的になる

### 勝ち負けのない方法の効果

- ・親が強制する必要がない。
- ・子どもは「決定」に参加したことで実行する気持ちになる。
- ・お互いの考えを伝え合うことにより、相互に理解し、信頼関係が深まる。

**幡野たいさんの功績  
新聞で紹介されました**



昨年、学校だよりで紹介しました幡野たいさんの五十年にわたる本校への支援活動が、六月十八日の山梨日日新聞で紹介されました。

新聞に掲載された写真は、本年五月に幡野さんが来校されたときに行ったベルマーク委員会の子どもたちとの交流会の様子です。



交流会では、ベルマーク委員会の委員長が代表して、お礼の手紙を読み上げ、感謝の気持ちを表しました。幡野さんからは、娘さんが四年生のときに、PTA役員としてベルマークの収集を始めたこと、大変な仕事であるが、子どもたちの喜ぶ顔を思い浮かべると苦にならないことなどのお話を伺いました。



写真の封筒は、新聞記事を見て、甲斐市と笛吹市の方から送られたもので、中にいっぱいベルマークが入っていました。とても嬉しいことです。ベルマークを通じて、他の地域の方とつながることができました。



**土曜チャレンジ手話教室**

土曜チャレンジは、子どもたちの土曜日の学習として試みの取り組みです。順調に行えるか心配はありますが、本年度において数回実施してみようと考えています。ご理解とご協力をお願いします。

第一回目は六月二十日(土)に、上野原市にある「手話の街を創る会」の皆様にご指導いただき、手話教室を開催しました。十八名の参加がありました。楽しく手話を学ぶことができました。実際に耳栓をして音が聞こえにくい状態で相手に何かを伝えるという体験から始まり、手の動きの意味など手話の基本を指導していただきました。



二時間という短い時間で、挨拶の仕方や自分の名前などの言い方など上手にできるようになりました。

参加いただきました子どもたち、保護者の皆様ありがとうございました。また、手話の街を創る会の皆様には、きめ細かなご指導をいただき、ありがとうございました。

**進んで運動していますか**



お子さんは進んで運動をしていますか。山梨県の子どもの体力は全国平均を下回っています。でも、運動に興味を持っている子は多いそうです。

実際にはスポ少などに参加して、週末は練習で体を動かしている子が多くいますが、その反面、ゲームなど室内での遊びをしている子もいます。本年度も学校では、縄跳びに取り組んでいます。六月には「なわとび集会」も行われ、長縄跳びに挑戦しています。縄跳びは学年に応じていろいろな跳び方ができ、練習すればするほど上達します。また、庭先でできるとても良い運動です。ご家庭でも縄跳びに挑戦してみてください。

**あしあと**

今年の三月に、給食担当の先生から給食着を見せてもらいました。その給食着は、ほころんでしまった襟の部分にあて布をして修繕してありました。

給食当番で給食着を洗濯のために持ち帰ったご家庭で修繕して下さったのです。その他にも別のボタンがついているものもありました。修繕して下さった皆様ありがとうございました。

こわれたから捨ててしまおうということが多い今日、修理して使うことはとても大事なことです。

物を大切に使うという子どもたちに学んでほしいと思います。

